

平成18年10月23日、清水高原で記念樹の森の植樹祭がおこなわれました。広報やまがたの記事では深い霧の日だったようですが、私も参加しましたが、雨はなく、陽はささず、まずまずの天気と憶えています。

スカイランドきよみずの北東の斜面が、伐採され斜面一帯に植樹が出来るように段々に道が作られていました。2、3本の苗木をもって中腹まで降りていき植樹をしてきました。

植樹の木は、鮮やかな赤になる品種のやまもみじとやまぼうしがメインで、きれいな紅葉の森となることを想定しての選定だったそうです。

#### 平成18年広報やまがた



10月23日、清水高原で記念樹の森植樹祭が行われました。

この日、会場のスカイランドきよみず周辺には朝から深い霧が立ちこめ、幻想的な雰囲気の中、参加した70名がヤマボウシや山モミジなどの幼木を植樹しました。

この植樹祭は、清水高原を訪れた方が転入や出生などに合せて記念の樹を植える「メモリアルバルト」を整備するもので、県のコモンズ支援金の助成を受け実施されました。思い出の森が美しく育つよう、村民みんなで大切に見守りましょう。

<平成18年広報やまがた>

スカイランドきよみず周辺には、どうだんつつじが植えられており、これもきれいに紅葉していますので、ホテルの庭からじっくり景色を楽しむのもよいが、周囲の道を散歩しながら歩くと、紅葉の他に、パノラマの景色がこくこくと変化していくのが見えて楽しい散歩ができました。



<スカイランドきよみず周辺の紅葉>



<植樹前の伐採状態>

それから7年、やまもみじが真っ赤に色づき見頃を迎えました。やまぼうし・やまもみじは3mくらいに成長し、斜面一面に色づきました。

手入れの出来なくなったうっそうとした人工林を、若木の森・山にかえるには数年の辛抱は致しかたなく10年単位で若返りを考えていくことが大事であると感じています。

去年は、テニスコートと紅葉の斜面の間をはじめとし、テニスコートのまわりの松を全て切りました。本数にして60本、高さ20m以上の大きな木で、森林組合の方などが数回に分けて切り倒しました。桜は残しておきましたので、今年は多くの陽があたり、色合も赤・黄色とも鮮やかなものとなりました。